

## 第4章 水道財政の概要

水道事業を取り巻く経営環境は、節水機器の普及・高性能化や企業のコスト削減などによる水需要の減少等により、非常に厳しいものとなっています。一方で、高度経済成長期に建設した多くの水道施設の老朽化が進んでいることや、今後、横浜市において大地震の発生が懸念されることから、施設の更新・耐震化や災害対策の強化が喫緊の課題となっています。

このため、徹底した事業見直しによるコスト削減や、適切な企業債の活用、料金改定（令和3年7月施行）等により、財政基盤の強化を図り、将来に向けて持続可能な事業運営を行っていきます。

### 4年度決算のポイント

令和4年度の水道料金収入は、令和3年7月に改定した新料金の全期間適用により、前年度に比べ税込で24億円（3.2%）増の764億円となりました。

使用水量は、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の解消が進み、前年度に比べ家事用が892万 $\text{m}^3$ （2.8%）減少しましたが、大型商業施設や宿泊業などの業務用等は211万 $\text{m}^3$ （3.1%）増加しました。

純利益は、料金収入が24億円増加した一方で、支出において電力価格の高騰に伴い動力費が14億円増加したことや、老朽管更新の更新延長が増えたことにより修繕費が8億円増加するなど前年度に比べて2億円増にとどまり102億円となりました。

累積資金残額は、前年度に比べ35億円増加し218億円となりました。

企業債残高は、今後の施設更新費用の増大を見据え2年度から企業債の割合を引き上げたことなどにより、前年度に比べ37億円増の1,583億円となりました。

[収益的収支及び企業債残高] (億円、税込)

	4年度	3年度	増 減
収益的収入	931.2	905.8	25.4
うち水道料金収入	763.9	739.6	24.3
収益的支出	800.0	782.2	17.8
うち動力費	34.7	20.9	13.8
うち修繕費等	110.8	102.5	8.3
純利益	102.3	100.3	2
(経常利益)	(102.3)	(97.7)	(4.6)
累積資金残額	217.8	182.8	35
企業債残高	1,583.4	1,545.9	37.5



※金額の表示単位を億円未満で四捨五入しているため、総数と内訳が一致しない場合があります。

## ( 1 ) 決算概要表

(単位：円)

項 目		年 度	R 2		3		
				%		%	
収 入	水道料金	金	69,517,169,882	100.2	73,959,938,231	106.4	
	他会計繰入金	金	5,698,001,855	106.5	5,977,403,059	104.9	
	浄水受託収入	益	1,730,991,405	101.3	1,730,991,405	100.0	
	水道利用加入金	金	1,392,002,250	80.7	1,443,045,000	103.7	
	長期前受金戻入	金	5,072,015,415	98.1	5,001,261,608	98.6	
	その他特別利益	益	2,135,792,962	90.5	2,206,752,536	103.3	
				7617.0	259,049,356	10.5	
		計		88,002,100,266	102.7	90,578,441,195	102.9
	支 出	人件費	費	11,426,342,167	99.3	11,081,097,954	97.0
		物件費	等	25,275,206,614	102.6	24,694,227,749	97.7
動力費		費	1,964,723,209	94.1	2,091,208,937	106.4	
薬品費		費	537,577,257	90.0	518,896,521	96.5	
修繕費		等	11,177,745,137	109.8	10,245,783,340	91.7	
委託料		料	7,094,788,072	102.9	6,728,860,133	94.8	
その他		他	4,500,372,939	92.5	5,109,478,818	113.5	
企業団受水費		費	16,755,682,130	100.2	16,788,639,670	100.2	
減価償却費		等	23,166,690,984	99.8	23,492,385,857	101.4	
支払利息		等	2,338,357,533	89.8	2,167,998,384	92.7	
	計		78,962,279,428	100.4	78,224,349,614	99.1	
収益的収支差引			9,039,820,838	-	12,354,091,581	-	
消費税等調整額			2,531,335,137	-	2,323,828,952	-	
純損益			6,508,485,701	-	10,030,262,629	-	
資 本 的 収 入	企業債	債	14,442,000,000	127.4	13,979,000,000	96.8	
	(うち借換債)	( )	(2,412,000,000)	87.8	(2,714,000,000)	112.5	
	一般会計出資金	金	233,000,000	38.2	634,000,000	272.1	
	国庫補助金等	等	275,284,000	381.4	52,795,000	19.2	
	工事負担金	金	1,002,174,491	102.2	1,238,076,107	123.5	
	その他	他	144,616,071	439.4	19,291,654	13.3	
	計		16,097,074,562	123.6	15,923,162,761	98.9	
支 出	建設改良費	費	32,609,139,711	128.1	29,175,728,854	89.5	
	基幹施設整備事業費	費	5,961,750,117	104.7	4,934,228,889	82.8	
	配水管整備事業費	費	19,641,902,664	106.7	22,410,220,286	114.1	
	その他建設改良費	費	7,005,486,930	516.9	1,831,279,679	26.1	
	企業債償還金	金	12,568,735,571	97.7	13,665,851,324	108.7	
	投資	等	10,685,491	9.4	13,076,443	122.4	
	計		45,188,560,773	117.6	42,854,656,621	94.8	
資本的収支差引			△ 29,091,486,211	-	△ 26,931,493,860	-	
資金収支	補填財源		27,299,283,630	-	27,841,853,612	-	
当年度資金収支			△ 1,792,202,581	-	910,359,752	-	
前年度末資金残額			19,163,106,372	-	17,370,903,791	-	
累積資金残額			17,370,903,791	-	18,281,263,543	-	
建設改良積立金			9,171,342,322	-	7,603,810,272	-	
西谷浄水場再整備特別積立金			8,199,561,469	-	10,677,453,271	-	

(注) 1 計数は税込み。指数は対前年度比。

2 他会計繰入金には、一般会計補助金を含みます。

(単位：円)

項 目		年 度	4		5 (予算)		
収 入	水道料金	金	76,385,645,175	103.3	76,587,680,000	100.3	
	他会計繰入金	金	6,301,940,718	105.4	6,427,161,000	102.0	
	浄水受託収入	益	1,728,739,155	99.9	1,735,004,000	100.4	
	水道利用加入金	金	1,377,303,000	95.4	1,612,132,000	117.0	
	長期前受戻金	入	4,941,076,706	98.8	4,877,168,000	98.7	
	その他特別利益	他	2,385,040,047	108.1	2,614,679,000	109.6	
		益	0	-	0	-	
		計	93,119,744,801	102.8	93,853,824,000	100.8	
	支 出	人件費	費	11,181,306,934	100.9	11,475,784,000	102.6
		物件費	等	26,329,541,196	106.6	29,989,020,000	113.9
動力費		費	3,467,088,923	165.8	5,482,977,000	158.1	
薬品費		費	530,834,466	102.3	659,808,000	124.3	
修繕費		等	11,080,100,679	108.1	12,126,949,000	109.4	
委託料		料	6,907,037,224	102.6	7,324,017,000	106.0	
その他		他	4,344,479,904	85.0	4,395,269,000	101.2	
企業団受水費		費	16,605,529,820	98.9	17,198,626,000	103.6	
減価償却費		等	23,866,415,631	101.6	23,898,764,000	100.1	
支払利息		等	2,019,322,171	93.1	2,298,440,000	113.8	
	計	80,002,115,752	102.3	84,860,634,000	106.1		
収益的収支差引			13,117,629,049	-	8,993,190,000	-	
消費税等調整額			2,891,915,259	-	3,305,416,000	-	
純損益			10,225,713,790	-	5,687,774,000	-	
資 本 的 収 入	企業債	債	12,293,000,000	87.9	15,592,000,000	126.8	
	(うち借換債)	( )		-	(1,570,000,000)	皆増	
	一般会計出資金	金	3,339,000,000	526.7	2,175,000,000	65.1	
	国庫補助金等	等	392,033,000	742.6	1,198,433,000	305.7	
	工事負担金	金	1,259,132,031	101.7	1,645,972,000	130.7	
	その他	他	7,250,350	37.6	8,129,000	112.1	
	計	17,290,415,381	108.6	20,619,534,000	119.3		
支 出	建設改良費	費	35,340,502,051	121.1	40,078,596,000	113.4	
	基幹施設整備事業費	費	6,637,041,846	134.5	11,474,000,000	172.9	
	配水管整備事業費	費	27,377,766,232	122.2	26,735,000,000	97.7	
	その他建設改良費	費	1,325,693,973	72.4	1,869,596,000	141.0	
	企業債償還金	金	8,547,525,339	62.5	11,096,151,000	129.8	
	投資等	等	11,565,341	88.4	70,352,000	608.3	
	計	43,899,592,731	102.4	51,245,099,000	116.7		
資本的収支差引			△ 26,609,177,350	-	△ 30,625,565,000	-	
資金収支	補填財源		30,106,109,601	-	28,579,400,000	-	
	当年度資金収支		3,496,932,251	-	△ 2,046,165,000	-	
前年度末資金残額			18,281,263,543	-	((21,778,195,794))	-	
					17,442,921,000	-	
累積資金残額			21,778,195,794	-	((19,732,030,794))	-	
					15,396,756,000	-	
建設改良積立金			9,056,094,987	-	-	-	
西谷浄水場再整備特別積立金			12,722,100,807	-	-	-	

(注) 3 5 (予算) の前年度末資金残額及び累積資金残額の(( ))は、4年度決算により置き換えた額。

4 5 (予算) の「収益的収支」「支出」「物件費等」「その他」には特別損失及び予備費、「資本的収支」「支出」「投資等」には予備費及び国庫補助金返還金を含む。

## ( 2 ) 損益計算書

(単位：円)

項 目	年 度	R 2	3	4
1	営 業 収 益	71,550,514,717	75,842,747,898	78,465,669,046
	(1) 給 水 収 益	63,202,937,439	67,242,796,412	69,448,828,238
	(2) 受 託 工 事 収 益	214,722,974	213,746,004	212,075,082
	(3) そ の 他 営 業 収 益	8,132,854,304	8,386,205,482	8,804,765,726
2	営 業 費 用	71,906,295,079	70,705,310,287	72,989,415,007
	(1) 原 水 費	2,631,929,792	2,681,910,571	3,074,287,738
	(2) 浄 水 費	19,247,302,649	19,112,817,169	19,240,511,495
	(3) 配 水 費	13,908,201,302	13,061,891,603	14,336,923,322
	(4) 給 水 費	2,269,985,561	2,130,973,263	2,292,983,221
	(5) 受 託 工 事 費	294,452,891	291,178,151	227,831,024
	(6) 業 務 費	5,438,176,962	5,499,238,318	5,605,491,313
	(7) 総 係 費	5,051,392,660	4,507,019,368	4,389,143,151
	(8) 減 価 償 却 費	19,977,893,121	20,019,129,376	20,284,455,573
	(9) 資 産 減 耗 費	3,086,960,141	3,401,152,468	3,537,788,170
	営 業 利 益	△ 355,780,362	5,137,437,611	5,476,254,039
3	営 業 外 収 益	6,874,107,478	6,916,492,802	6,839,255,553
	(1) 受取利息及び配当金	1,930,568	635,030	306,188
	(2) 国 庫 補 助 金	0	2,607,000	0
	(3) 一 般 会 計 補 助 金	59,127,000	56,691,000	53,475,000
	(4) 造 林 補 助 金	914,358	3,806,681	5,976,879
	(5) 水 道 利 用 加 入 金	1,265,400,000	1,311,825,000	1,252,080,000
	(6) 長 期 前 受 金 戻 入	5,072,015,415	5,001,261,608	4,941,076,706
	(7) 雑 収 益	474,720,137	539,666,483	586,340,780
4	営 業 外 費 用	2,465,967,912	2,282,717,140	2,089,795,802
	(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	2,337,715,744	2,166,470,535	2,018,795,057
	(2) 企 業 団 補 助 金	0	0	0
	(3) 減 価 償 却 費	21,074,380	17,843,315	17,843,315
	(4) 資 産 減 耗 費	90,348,163	1,001,750	0
	(5) 雑 支 出	16,829,625	97,401,540	53,157,430
	経 常 利 益	4,052,359,204	9,771,213,273	10,225,713,790
5	特 別 利 益	2,456,126,497	259,049,356	0
	(1) 固 定 資 産 売 却 益	2,456,126,497	259,049,356	0
	当 年 度 純 利 益	6,508,485,701	10,030,262,629	10,225,713,790
	前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金	0	0	0
	そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額	8,300,688,282	9,119,902,877	6,728,781,539
	当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	14,809,173,983	19,150,165,506	16,954,495,329

(注) 1 計数は税込み。指数は対前年度比。

2 他会計繰入金には、一般会計補助金を含みます。

## ( 3 ) 貸借対照表

(単位：円)

年 度		R 2	3	4
項 目				
資 産 の 部	1 固 定 資 産	603,942,284,641	606,956,796,134	615,505,312,127
	(1) 有 形 固 定 資 産	515,728,397,691	519,097,392,277	528,290,390,089
	(2) 無 形 固 定 資 産	11,337,668,099	11,018,299,425	10,396,892,790
	(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	76,876,218,851	76,841,104,432	76,818,029,248
	2 流 動 資 産	46,127,943,059	47,846,858,077	56,619,761,297
	(1) 現 金 ・ 預 金	35,825,702,960	34,791,521,562	41,281,741,367
	(2) 未 収 金	7,745,414,087	9,065,546,153	12,026,479,028
	(3) 貯 蔵 品	594,589,332	583,725,222	552,981,922
	(4) 前 払 費 用	11,656,680	11,375,140	14,344,080
	(5) 前 払 金	1,950,580,000	3,394,690,000	2,744,214,900
資 産 合 計	650,070,227,700	654,803,654,211	672,125,073,424	
負 債 の 部	3 固 定 負 債	165,293,688,878	169,815,072,335	170,072,252,501
	(1) 企 業 債	140,612,607,654	146,044,082,330	147,240,931,991
	(2) P F I 債 務	8,623,998,584	7,875,181,544	7,116,030,511
	(3) リ ー ス 債 務	284,877,888	148,524,200	278,760,130
	(4) 引 当 金	15,772,204,752	15,747,284,261	15,436,529,869
	4 流 動 負 債	39,885,586,343	32,569,780,346	38,793,483,210
	(1) 企 業 債	13,665,852,000	8,547,526,000	11,096,151,000
	(2) P F I 債 務	740,527,004	748,817,040	759,151,033
	(3) リ ー ス 債 務	172,237,260	136,353,688	151,230,574
	(4) 未 払 金	19,104,504,112	16,963,812,816	20,699,652,302
	(5) 前 受 金	49,014,799	155,397,807	92,618,601
	(6) 前 受 収 益	16,570,245	30,640,306	31,963,580
	(7) 預 り 金	5,112,021,215	4,993,248,272	4,957,376,343
(8) 引 当 金	1,024,859,708	993,984,417	1,005,339,777	
5 繰 延 収 益	76,130,913,235	72,993,840,867	70,269,663,257	
(1) 長 期 前 受 金	76,130,913,235	72,993,840,867	70,269,663,257	
負 債 合 計	281,310,188,456	275,378,693,548	279,135,398,968	
資 本 の 部	6 資 本 金	340,723,291,251	349,657,979,533	362,116,882,410
	7 剰 余 金	28,036,747,993	29,766,981,130	30,872,792,043
	(1) 資 本 剰 余 金	2,365,155,920	2,365,814,710	2,365,814,710
	(2) 利 益 剰 余 金	25,671,592,073	27,401,166,420	28,506,977,333
資 本 合 計	368,760,039,244	379,424,960,663	392,989,674,453	
負 債 資 本 合 計	650,070,227,700	654,803,654,211	672,125,073,421	

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

年 度	R2	3	4
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	23,103,256,738	28,121,729,209	28,306,253,211
当年度純利益	6,508,485,701	10,030,262,629	10,225,713,790
減価償却費	19,998,967,501	20,036,972,693	20,302,298,888
固定資産除却費	3,159,030,967	3,402,152,629	3,537,788,170
長期前受金戻入額	△ 5,072,015,415	△ 5,001,261,608	△ 4,941,076,706
受取利息	△ 1,930,568	△ 635,030	△ 306,188
支払利息	2,337,715,744	2,166,470,535	2,018,795,057
固定資産売却益	△ 2,456,126,497	△ 259,049,356	0
未収金の増減額	214,394,302	△ 823,802,667	142,179,555
未払金の増減額	288,573,288	873,593,952	△ 633,368,109
前払費用の増減額	1,902,240	281,540	△ 2,968,940
前受金の増減額	△ 19,252,162	12,071,180	△ 21,070,580
前受収益の増減額	△ 13,795,599	14,070,061	1,323,274
預り金の増減額	84,967,742	△ 118,772,943	△ 35,871,929
引当金の増減額	452,317,687	△ 55,653,011	△ 299,437,502
たな卸資産の増減額	△ 45,256,027	10,864,110	30,743,300
小 計	25,437,978,904	30,287,564,714	30,324,742,080
利息の受取額	2,993,578	635,030	306,188
利息の支払額	△ 2,337,715,744	△ 2,166,470,535	△ 2,018,795,057
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 23,125,319,334	△ 29,189,129,321	△ 24,639,880,756
有形固定資産の取得による支出	△ 23,594,568,011	△ 29,726,604,480	△ 25,354,009,980
無形固定資産の取得による支出	△ 2,777,869,062	△ 234,350,844	△ 465,978,772
投資その他の資産の売却による収入	2,599,087,514	274,046,746	137,090
他事業体からの出資の回収による収入	6,362,724	9,456,162	9,683,950
基金積立による支出	△ 10,685,491	△ 13,076,443	△ 11,565,341
基金取崩による収入	1,655,054	2,814,664	7,113,260
短期貸付による支出	△ 16,000,000,000	△ 8,000,000,000	0
短期貸付の回収による収入	16,000,000,000	8,000,000,000	0
国庫補助金等による収入	650,697,938	498,584,874	1,174,739,037
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,218,604,554	33,218,714	2,823,847,350
建設改良費の財源に充てるための 企業債による収入	14,442,000,000	13,979,000,000	12,293,000,000
建設改良費の財源に充てるための 企業債の償還による支出	△ 12,568,735,571	△ 13,665,851,324	△ 8,547,525,339
一般会計からの出資による収入	233,000,000	634,000,000	0
P F I 債務の償還による支出	△ 730,466,356	△ 740,527,004	△ 748,817,040
リース債務の償還による支出	△ 157,193,519	△ 173,402,958	△ 172,810,271
資 金 増 減 額	1,196,541,958	△ 1,034,181,398	6,490,219,805
資 金 期 首 残 高	34,629,161,002	35,825,702,960	34,791,521,562
資 金 期 末 残 高	35,825,702,960	34,791,521,562	41,281,741,367

(5) 人件費及び職員数等

項 目		年 度			
		2	3	4	5 (予算)
人件費 (千円)	水道事業計	13,250,069	12,931,101	13,083,218	13,502,840
	損益勘定	11,426,342	11,081,098	11,181,307	11,475,784
	資本勘定	1,823,727	1,850,003	1,901,911	2,027,056
	工業用水道事業計	256,789	234,270	245,138	266,210
	損益勘定	237,984	215,120	226,177	246,219
	資本勘定	18,805	19,150	18,961	19,991
	合 計	13,506,858	13,165,371	13,328,356	13,769,050
職員数 (人)	水道事業計	1,480	1,456	1,445	1,448
	損益勘定	1,255	1,225	1,207	1,207
	資本勘定	225	231	238	241
	工業用水道事業計	26	26	27	29
	損益勘定	24	24	25	27
	資本勘定	2	2	2	2
	合 計	1,506	1,482	1,472	1,477
職員一人当たり人件費 (年額・千円)	水道事業計	8,583	8,415	8,495	8,952
	損益勘定	8,636	8,470	8,583	8,989
	資本勘定	8,303	8,138	8,074	8,764
	工業用水道事業計	8,761	8,354	8,386	9,035
	損益勘定	8,708	8,252	8,295	8,955
	資本勘定	9,402	9,575	9,480	9,995
	合 計	8,587	8,414	8,493	8,954
給与改定率 (%)	人事院勧告	0.00	0.00	0.23	—
	人事委員会勧告	0.00	△ 0.02	0.22	—
	水道局	0.00	△ 0.02	0.22	—
平均	年 令	44歳2か月	44歳0か月	44歳2か月	—
	勤続年数	21年3か月	21年0か月	21年2か月	—

(注) ・ 一般職員・再任用職員・会計年度任用職員の給与及び法定福利費と特別職非常勤職員の報酬の合計。

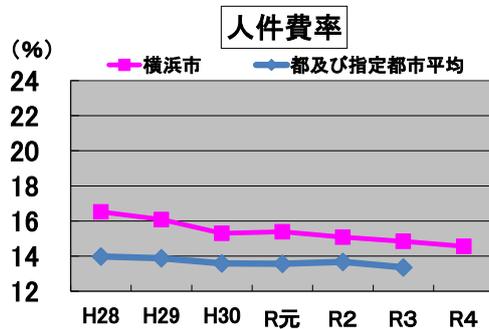
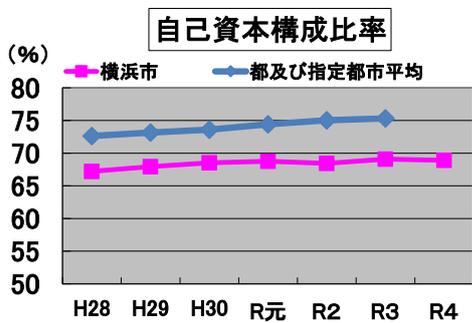
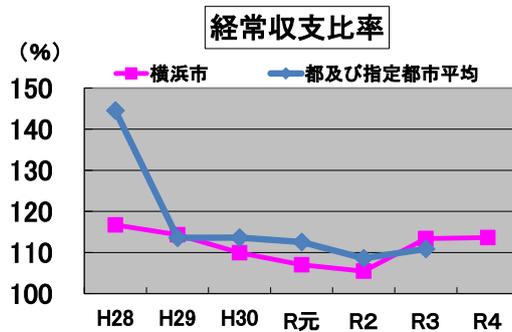
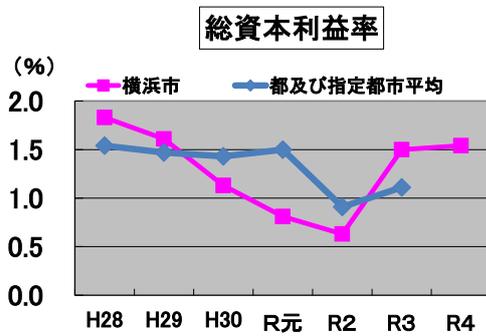
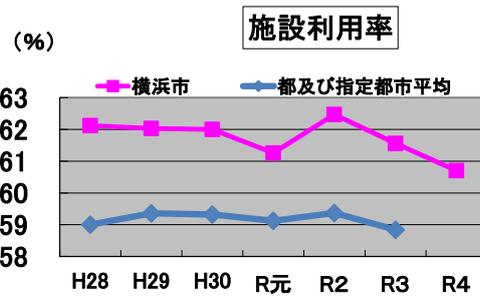
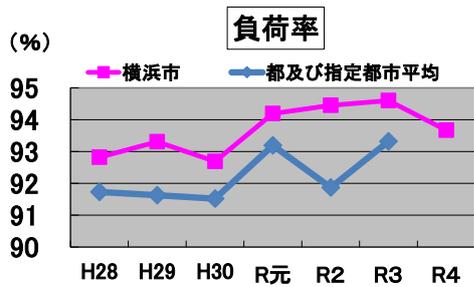
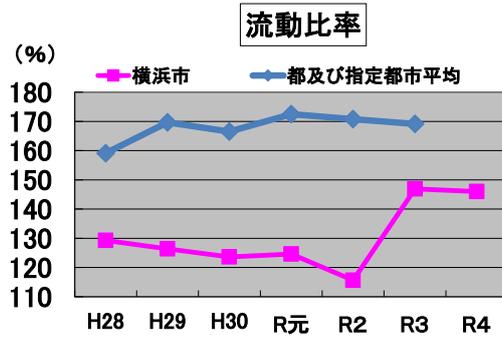
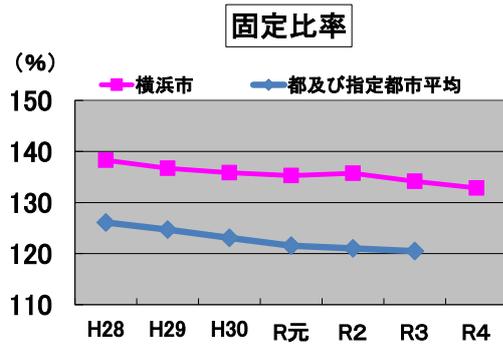
- ・ 職員数は、一般職員と再任用職員の合計。
- ・ 職員一人当たり人件費は、一般職員の人件費（退職給付費除く）を人数で除して算出。
- ・ 平均（年齢・勤続年数）は、一般職員のみ年齢・年数。

## (6) 財務分析比率

(単位：%)

区分	算式	参考 都及び指定都 市平均(3)	3	4	5(予算)	
財務 関 係 比 率	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益}} \times 100$	120.48	134.16	132.86	137.02
	固定資産対 長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金+評価差額等+固定負債+繰延収益}} \times 100$	96.00	97.54	97.19	98.98
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	169.11	146.91	145.95	117.82
	酸性試験比率	$\frac{\text{現金預金+未収金-貸倒引当金}}{\text{流動負債}} \times 100$	151.08	134.66	137.42	116.38
	現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	133.14	106.82	106.41	90.59
	資本負債比率	$\frac{\text{資本金+剰余金+繰延収益}}{\text{負債合計-繰延収益}} \times 100$	305.13	223.54	221.80	215.80
利 用 率	負荷率	$\frac{\text{一日平均給水量}}{\text{一日最大給水量}} \times 100$	93.32	94.60	93.67	-
	施設利用率	$\frac{\text{一日平均給水量}}{\text{一日給水能力}} \times 100$	58.84	61.56	60.70	61.21
	最大稼働率	$\frac{\text{一日最大給水量}}{\text{一日最大給水能力}} \times 100$	63.05	65.08	64.80	-
収 益 率	総資本利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{平均負債資本合計}} \times 100$	1.11	1.50	1.54	1.24
	自己資本 利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{平均自己資本金+平均剰余金}} \times 100$	1.48	2.18	2.23	1.81
	経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	110.89	113.39	113.62	110.97
	営業収益対 営業費用比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	106.81	107.27	107.50	105.09
	売上高利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{給水収益}} \times 100$	11.53	14.53	14.72	12.08
そ の 他	自己資本 構成比率	$\frac{\text{資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	75.32	69.09	68.92	68.33
	固定負債 構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	19.21	25.93	25.30	26.26
	企業債償還金 対減価償却費	$\frac{\text{企業債償還金(借換債を除く)}}{\text{減価償却費-長期前受金戻入}} \times 100$	56.41	72.84	55.64	58.87
	人件費率	$\frac{\text{人件費}}{\text{総費用(特損除、予備含む)}} \times 100$	13.36	14.84	14.56	14.66

- 1 固定比率 … 企業の長期的信用能力をみるための指標 (100%以下が望ましい)
- 2 固定資産対  
長期資本比率 … 資産調達の出発点である資本に固定負債も含めた場合の企業の長期的信用能力をみるための指標 (100%以下でなければならない)
- 3 流動比率 … 債務の支払能力をみるための指標 (200%以上が望ましい)
- 4 酸性試験比率 … 短期の支払能力をみるための指標 (100%以上が望ましい)
- 5 現金比率 … 短期・即座の支払能力をみるための指標 (20%以上が望ましい)
- 6 資本負債比率 … 企業資本構成の安全度をみるための指標 (100%以上が望ましい)
- 7 総資本利益率 … 経営業績の程度を表す指標 (率は大きいほどよい)
- 8 売上高利益率 … 利幅を表す指標 (率は大きいほどよい)



## (7) 企業債

### ア 企業債の概要

#### (ア) 地方債制度の概要

地方債とは、地方公共団体が財政上必要とする資金を外部から調達することによって負担する債務です。地方債は原則として、公営企業（交通、ガス、水道など）の建設事業費の財源を調達する場合などに発行できることとなっています（地方財政法第5条）。

地方債は、本来、各地方公共団体が議会の議決を経て、自らの責任と判断に基づいて発行する独自財源ですが、戦後復興時の社会情勢や資金需要の実勢、地方公共団体間の財政基盤の格差などを考慮し、平成17年度まで、国による「許可制度」がとられてきました。

しかし、平成18年度から、国と地方との役割分担を明確にし、地域の実情やニーズに適った个性的で多様な行政を効率的に展開するといった観点等から、「協議制度」への移行が図られました。これにより、財政状況が健全な地方公共団体は、総務大臣又は都道府県知事に協議を行えば、仮にその同意がなくとも、あらかじめ議会に報告して地方債を発行できることとなりました。

また、地方公共団体の自主性・自立性を高める観点から、平成24年度から、一定の要件を満たす地方公共団体が民間等資金債を発行する場合は、原則として協議が不要な「届出制度」が導入されました。

なお、地方債のうち、地方公共団体が地方公営企業の建設、改良等に要する資金に充てるため起こす地方債を「企業債」と称しています（地方公営企業法第22条）。

#### (イ) 横浜市水道局における企業債発行の考え方

将来にわたり利用される施設の整備等の建設改良工事については、世代間負担の公平性を図るため、一定程度の企業債を発行することが必要となります。

本市では、経営健全化の観点から、令和元年度まで、企業債残高の削減に取り組み、ピーク時と比較し約600億円以上の残高削減を行ってきました（平成13年度=2,159億円→令和元年度=1,524億円）。

しかし、浄水場や管路等の水道施設は高度経済成長期に整備されたものが多く、今後、西谷浄水場の再整備や大口径管路の耐震化など、多額の資金需要が見込まれています。

これらの更新・耐震化を着実に進めていくため、令和2年度から、建設改良費（特定財源を除く）に対する企業債の充当率を35%から40%に見直し、水道料金収入と企業債収入のバランスをとりながら、適切に財源確保を図っていくこととしました。

今後とも、施設整備計画や水需要予測に基づく収支見通しをベースに、金利や世代間の公平性を確認しながら、将来の財政硬直化を招くことがないように、適切に企業債を活用していきます。

## イ 企業債未償還残高（各年度末）

（単位：千円）

年 度		3	4	5（予算）
事業別	配水管整備	79,573,997	88,854,249	100,158,105
	基幹施設整備	74,974,671	69,452,986	67,576,026
	相模貯水池大規模建設改良	42,940	29,848	17,802
	計	154,591,608	158,337,083	167,751,933
資金融別	財政融資	(53.0) 81,918,000	(56.4) 89,236,172	(61.4) 103,030,494
	地方公務員共済組合	(0.4) 706,000	(0.3) 474,400	(0.2) 288,000
	地方公共団体金融機構	(23.7) 36,583,502	(20.9) 33,159,821	(17.9) 30,023,166
	市場公募	(10.7) 16,480,357	(10.3) 16,334,697	(9.9) 16,689,036
	銀行等引受	(12.2) 18,903,749	(12.1) 19,131,993	(10.6) 17,721,237
	計	(100.0) 154,591,608	(100.0) 158,337,083	(100.0) 167,751,933

- （注） 1 （ ）内は構成比で単位％。  
 2 地方公務員共済組合には、地共済連合会を含む。  
 3 5（予算）は、4年度決算額に5年度中発行予定額（4年度繰越4,919,000千円を含む）を加え、5年度中償還予定額を減じた額。

### <参考> 公的資金補償金免除繰上償還等（平成19～24年度）

国において、平成19～24年度にわたり、補償金を支払わずに繰上償還することや、民間資金等で低金利借換をすることが可能となる制度が臨時特例措置として設けられました。

この制度の実施を受け、本市水道事業においては、平成19年度、平成22～24年度に公的資金199億3,300万円について、繰上償還と低金利借換を行った結果、平成20～令和3年度まで支払予定であった利息45億7,700万円が軽減されました。

## ウ 利率別未償還残高内訳

(単位：千円)

利 率 \ 年 度	R 3	4	5 (予算)
0.5%未満	26,540,385 (17.2)	26,867,769 (17.0)	26,695,154 (15.9)
0.5%以上1.0%未満	50,504,024 (32.7)	40,419,561 (25.5)	38,664,304 (23.0)
1.0 " 1.5 "	10,411,832 (6.7)	30,882,981 (19.5)	30,284,579 (18.1)
1.5 " 2.0 "	22,738,292 (14.7)	21,353,924 (13.5)	38,387,830 (22.9)
2.0 " 2.5 "	38,581,360 (25.0)	35,170,200 (22.2)	31,735,352 (18.9)
2.5 " 3.0 "	2,176,531 (1.4)	1,664,677 (1.0)	1,138,260 (0.7)
3.0 " 3.5 "	1,755,946 (1.1)	1,175,664 (0.8)	585,928 (0.3)
3.5 " 4.0 "	575,516 (0.4)	292,960 (0.2)	0 (0.0)
4.0 " 4.5 "	219,942 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
4.5 " 5.0 "	1,087,780 (0.7)	509,347 (0.3)	260,526 (0.2)
計	154,591,608 (100.0)	158,337,083 (100.0)	167,751,933 (100.0)
平 均 利 率	1.32%	1.23%	1.30%
最 高 利 率	4.75%	4.65%	4.65%

(注) 1 ( )内は構成比で単位%。

2 5 (予算)は、4年度決算額に、5年度中発行予定額(4年度繰越4,919,000千円を含む。財政融資債予定利率1.80%)を加え、5年度中償還予定額を減じた額。

## (8) 国庫補助金等の収入額

(単位:百万円)

項目	補助率	年 度				
		R元	2	3	4	5(予算)
基幹水道構造物の耐震化事業	1/3 又は 1/4	71	119	35	16	4
生活基盤施設耐震化等効果促進事業		-	-	-	21	10
水道施設再編推進事業		-	-	18	275	1,184
水道施設機能維持整備費		-	-	-	17	-
二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金等	1/2	1	156	-	63	-
クリーンエネルギー自動車導入促進補助金	1/1 ～ 1/4	-	-	-	-	1
合計		72	275	53	392	1,199

